

第十八回俳人協会岐阜県支部主催「芭蕉の道俳句大会」成績

応募句の部

俳人協会賞

太陽に捧げるやうに大根干す

加藤いつ子（多治見市）

岐阜県支部賞

ひらがなの名をもらひたる春着の子

川合千鶴子（多治見市）

岐阜県知事賞

百畳の余寒吹つ飛ぶ背負ひ投げ

早崎美弥子（大垣市）

岐阜県議会議長賞

昼頃と思ふ我が影耕せり

飯田正幸（名古屋市）

岐阜県教育委員会賞

諍ひし後の長風呂柚子ひとつ

竹嶋富美子（垂井町）

岐阜市長賞

しぐるるや籠大仏へ砂利の径

一柳輝彦（岐阜市）

岐阜市議会議長賞

霜の朝子が父親となりにけり

伊藤きよ子（可児市）

岐阜市教育委員会賞

自転車の籠にラケット風光る

竹内すま子（可児市）

岐阜観光コンベンション協会賞

多分もう帰らぬ故郷風花す

清水須磨子（可児市）

秀逸賞

うららかや窓に音符の幼稚園

小栗千賀子

老いてなお土に明け暮れのっぺい汁

神田嘉代子

みちのくや雪厚く被る自刃の碑

加藤正子

ものの芽の雨音に母眠りけり

伊藤脩子

松過ぎの夫の爪切る日向かな

斎田礼子

逢はねばと思ふ賀状の届きけり

武仲登志春

春の鴨池の広さを余しけり

遠藤幹郎

茅葺の家を守りて梅ま白

前川けい子

狐火を今も信じて老いにけり

樋口かほる

明日譲る家の春塵ぬぐひけり

田中紫香

たんぽぽの絮おどろかす鼓笛隊

小澤敏

当日句の部

俳人協会賞

たたみ置く光まみれの白日傘

加藤いつ子（多治見市）

岐阜県支部賞

弧を描く子の放尿や新樹光

古田幸治（大野町）

岐阜県知事賞

光年てふ単位を思ふ端居かな

高橋喬子 (岐阜市)

岐阜県議会議長賞

もの忘れ多き日となり羽抜鳥

安田一義 (岐阜市)

岐阜県教育委員会賞

身をかこつことなく生きて羽抜鶏

毛利慶子 (本巣市)

岐阜市長賞

新幹線光と消えて田草取

浅野威 (岐阜市)

岐阜市議会議長賞

尾に泥をつけて闊歩の羽抜鶏

荻原八重子 (多治見市)

岐阜市教育委員会賞

聖五月少女の髪に光の輪

柴田恭雨 (岐阜市)

岐阜観光コンベンション協会賞

小鹿鳴く杜の光のありにけり

武藤勇 (岐阜市)

秀逸賞

光合成てふ力あり柿若葉

奥山ゆい

額の花雨の重さを光りあふ

福井緑

若葉風光の波の金華山

宮本ます美

デイ帰りの母の饒舌羽抜鶏

横山稲子

トンネルの先の半円新樹光

青谷百合子

光よりまぶしきものや柿若葉

左高富美

首伸べて明日を見てゐる羽抜鶏

伊奈治

ソーダ水光の粒をはきつづけ

後藤政子

新樹光ベンチに恋の高校生

岡八重子

街を往くみんなへ椎の花光る

村井田鶴

改元の神事遠目に羽抜鶏

関谷恭子

眼の端に人射る力羽抜鶏

多賀英華

綿シャツのシャボンの匂ひ薄暑光

羽淵房子

光りあふ午后のさざなみ夏の鴨

尾関逸子

眼光に気位のこす羽抜鶏

山田たかお

夏つばめ川底の石光りあひ

村瀬幹枝

はつなつや光の束の波頭

鈴木ミヨコ

棟梁の声遠くまで青葉光

植村紀美子

はつ夏の光の宙へ訓練機

辻佐代子

喚声の渦となりたる御来光

大岩里子

羽づくろふ仕草してをり羽抜鶏

長谷川宏

味噌汁に朝の光と筍と

鈴木由美子

和良川のこと饒舌に鮎光る

一柳輝彦

便箋は雲の白さや薄暑光

森瑞穂